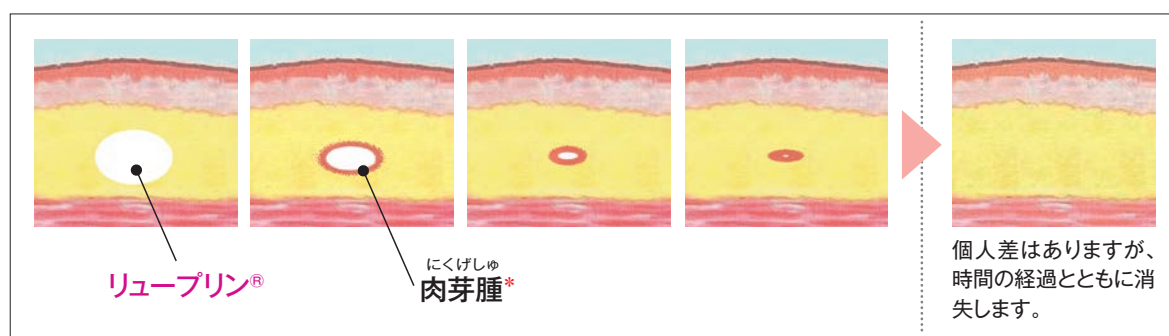


リュープリン®SR11.25mg (12週間持続型製剤)の注射を受けられる方へ

この薬は1回注射すると、注射部位におよそ12週間とどまり、少しずつ溶け出して12週間効き目が続きます。局所に投与された薬は、異物として認識され、その周りに肉芽腫^{にくげしゅ}*が形成され、注射部位に触れると「かたまり」として感じる場合があります。薬はおよそ12週間で、徐々に分解・吸収されるとともに、ほとんどの場合、肉芽腫^{にくげしゅ}*も縮小し、やがて消失します。

図1.リュープリン注射後の投与部位の一般的な経時的変化



* 肉芽腫：体内に入ってきた異物などを取り囲んだ細胞の集団です。

◆ 図1は、武田薬品工業(株)研究所が実施した動物試験の所見より作成しました。

監修：山崎直也(国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 科長)

「かたまり(肉芽腫^{にくげしゅ})」を感じる所が患者さんによっては、赤くはれたり(図2)、痛みを感じるなど異常をみとめることがあり、ごくまれに膿瘍・潰瘍化(図3)する可能性があります。異常を感じたらすみやかに主治医や看護師にご相談ください。

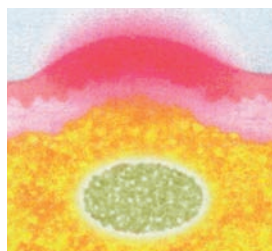


図2. 発赤

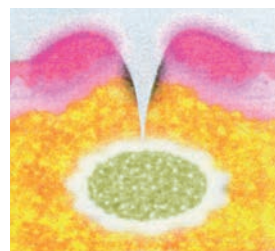


図3. 潰瘍化

《注射部位に関する患者さんへのお願い》

- 注射部位をこすったり、さわったりしないでください。
- ベルトなどで注射部位がこすれたりしないように注意してください。
- 注射部位に異常を感じた場合には、主治医、看護師にご相談ください。

◆◆ 主な副作用、特に注意すべき副作用は、裏面をご覧ください ◆◆

監修：愛知医科大学 学長 祖父江 元
神経内科 教授 勝野 雅央

リュープリン®SR11.25mgを注射したときの 副作用について

主な副作用(球脊髄性筋萎縮症の患者さんに投与した場合)

国内の臨床試験において、リュープリンSR11.25mgが初めて投与された240例中191例(79.6%)に臨床検査値の異常を含む副作用が報告されています。

主な副作用として、ほてり、便秘、体重増加、関節痛や注射部位が硬くなったり痛みを感じるなどの注射部位の異常があります。

特に注意すべき副作用

- 性欲減退、男性機能不全
- 間質性肺炎(発熱、から咳、息苦しい、息切れ)
- アナフィラキシー(からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん、判断力の低下)
- 肝機能障害、黄疸(からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる)
- 糖尿病の発症または増悪(からだがだるい、体重が減る、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える)
- 下垂体卒中(頭痛、吐き気、嘔吐、視力の低下、物が見えにくい、物がだぶって見える)
- 血栓塞栓症(血を吐く、吐き気、嘔吐、胸の痛み、胸をしめつけられる感じ、胸を強く押さえつけた感じ、激しい腹痛、腹がはる、足の激しい痛み、出血、知覚のまひ
[心筋梗塞]冷や汗、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、息苦しい
[脳 梗 塞]考えがまとまらない、判断力の低下、嘔吐、片側のまひ、吐き気、しゃべりにくい、意識を失って深く眠りこむ、手足のまひ、しびれ、意識の低下、頭痛、半身不随
[肺塞栓症]汗をかく、発熱、意識の低下、咳、胸の痛み、息苦しい)
- うつ状態(やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠)
- 心不全(からだがだるい、全身のむくみ、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、息苦しい、息切れ、動く時の動悸)

これらの副作用については、十分な注意が必要です。

リュープリンは、1回注射すると12週間注射した部位にとどまりますので、治療継続中に限らず最終注射後も、注射した部位に異常を感じた場合には、すみやかに主治医や看護師にご相談ください。

医療機関名



武田薬品工業株式会社